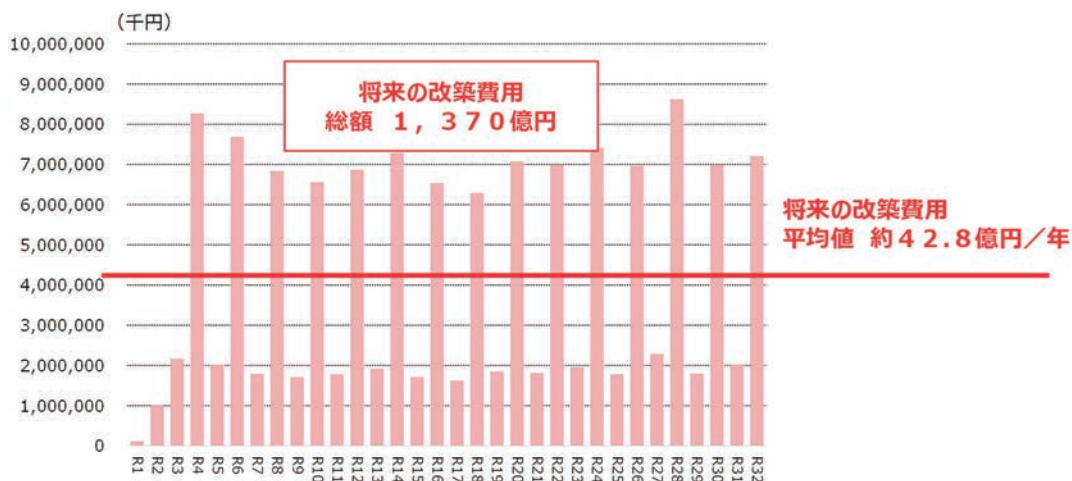


【改築整備費用の試算条件】

- ① 各建物の試算に当たっては、直近で改築した十小の改築単価や他市の改築実績を参考とした平米当たりの単価に、新たな校舎の延床面積を乗じて算出しています。
- ② 改築整備費用の試算条件は、今後の改築を実施した学校の実工事費や建設物価の変動により変更することがあります。
- ③ 普通教室サイズを従来の63㎡から、小学校は72㎡、中学校は80㎡を原則確保することを前提とし、校舎の改築対象面積は、小学校については既存校舎面積の1.15倍、中学校については既存校舎面積の1.25倍として試算しています。
- ④ 校舎の改築費について、十小の改築単価に建設物価の変動を考慮して試算しています。
- ⑤ 体育館の改築費について、他市の体育館改築費を参考に建設物価の変動を考慮して試算しています。
- ⑥ プールの改築費について、十小の改築事業費に建設物価の変動を考慮して試算しています。
- ⑦ 仮設校舎の建設費について、他市の仮設校舎建設費等を参考に建設物価の変動を考慮して試算しています。
- ⑧ 改築整備費用には設計費・工事監理費を含んでいます。
- ⑨ 五中については、普通教室棟が平成24年度に改築したため、特別教室棟のみが改築対象となりますが、本改築整備費用には含んでいません。
- ⑩ 十小、三中は改築後の築年数が浅いため、本改築整備費用に含んでいません。
- ⑪ 重層体育館（二中、三中、四中、五中、六中、七中）と武道場（一中、八中、九中、十中、浅間中）は築年数が浅いため、本改築整備費用に含んでいません。参考として、各校の整備費用実績の平均は、重層体育館が約2.1億円、武道場が約7.5億円となっています。

【図表52 長期的な改築費用の見通し】



【図表53 改築費用の内訳】

